

## これからは 大事なところへ集中的に投資

3つのテーマごとに、社会経済情勢の変化などを踏まえた8つの創造戦略を設定し、これらに経営資源を集中的に配分することで、将来を担う子どもたちのための輝かしい未来を創造していきます。

また、創造戦略の展開を支えるために、今後10年間で集中的に取り組む都市整備に関する施策を「都市空間創造戦略」として示します。

3つのテーマ  
(創造戦略)

### 暮らし・コミュニティ 創造戦略 ①地域福祉力 ②共生社会 ③地域マネジメント

つながりや支え合いによる安心して暮らせる地域を目指します。

- 主な取組
- 保健師等による訪問相談などを強化します。
  - まちづくりセンターなど身近な行政機能の充実を図ります。

### 産業・活力 創造戦略 ④札幌型産業 ⑤都市ブランド ⑥産業人材

北海道経済全体の活性化を見据えた足腰の強い経済基盤の確立を目指します。

- 主な取組
- 食や観光の魅力を生かして産業を活性化させます。
  - 女性が活躍しやすい環境整備を進めます。

### 低炭素社会・エネルギー転換 創造戦略 ⑦低炭素都市 ⑧次世代型エネルギー

低炭素社会と脱原発依存社会の実現を目指します。

- 主な取組
- 再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの取組を促進します。
  - エネルギーネットワークの構築を促進します。

### 都市空間 都市空間創造戦略 ①市街地 ②都心 ③拠点 ④ネットワーク ⑤都市基盤

持続可能な札幌型の集約連携都市を目指します。

- 主な取組
- 地下鉄駅周辺などへの生活関連機能の導入を支援します。
  - 公共交通の利便性の向上を図ります。

戦略を支える  
都市空間

## 私たちの将来のまちづくりの指針をぜひ、ご一読ください。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の本編（概要版）では、さらに具体的な内容を掲載しています。本編（概要版）は、下記で配布しているほか、ホームページでもご覧いただけます。なお、まちづくり戦略ビジョンは、目指すべき都市像や基本目標を示した「ビジョン編」と、都市像の実現に向けた札幌市の都市経営戦略である「戦略編」に分かれています。



#### <配布先>

- ・本編（有料：「ビジョン編」130円 「戦略編」180円）  
札幌市役所2階市政執行物コーナー
- ・概要版（無料）  
札幌市役所2階市政執行物コーナー・10階政策企画部、各区役所、まちづくりセンター
- ・ホームページ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>



さっぽろ市  
02-A02-13-1316  
25-2-221

#### お問い合わせ先

札幌市市長政策室政策企画部企画課  
住所：札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市役所10階  
電話：011-211-2192  
FAX：011-218-5109  
Eメール：sapporovision@city.sapporo.jp

札幌 戦略ビジョン

検索

# 10年後の札幌は どうなるの？

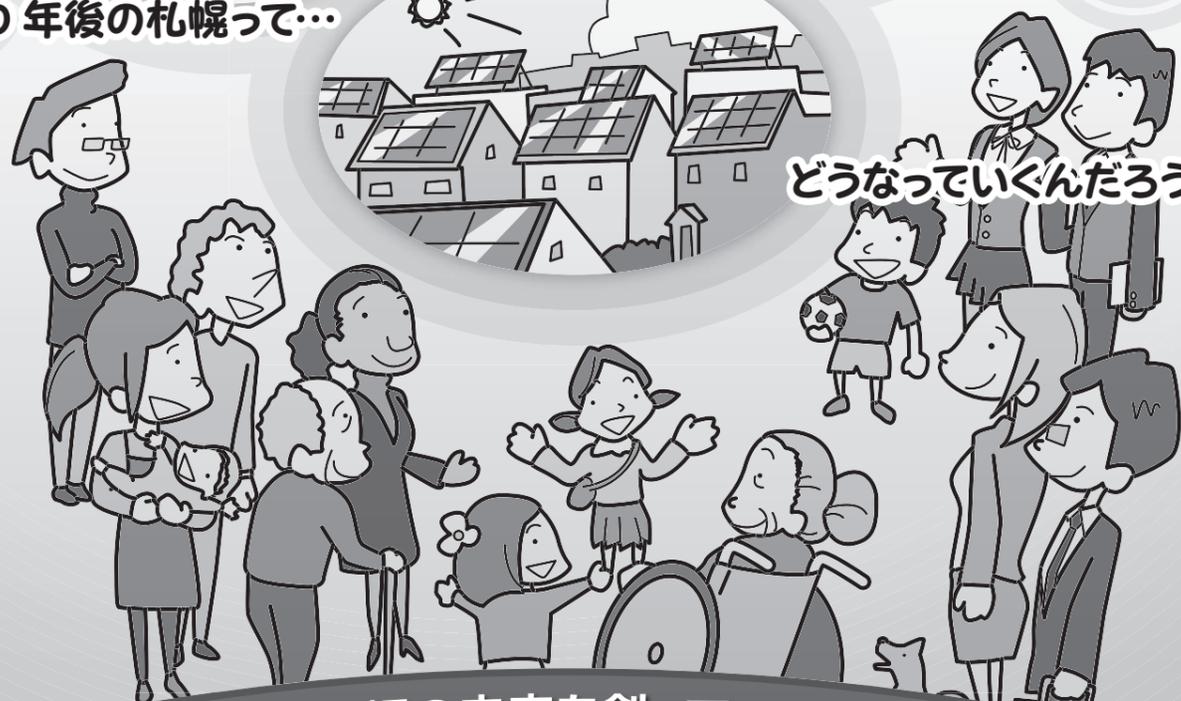
市民と共に歩む、これから10年間のまちづくりの指針（平成25～34年度）

## 札幌市まちづくり戦略ビジョン

をつくりました。

10年後の札幌って…

どうなっていくんだろう…



みんなで札幌の未来を創っていきましょう!

札幌市

SAPPORO

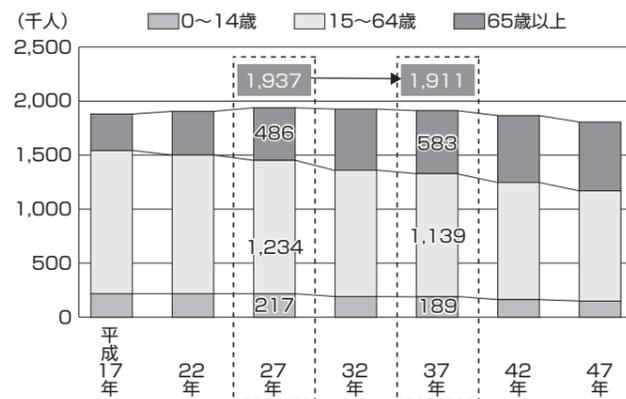
# 札幌は今、大きな転換期を迎えています

将来の見通し

人口が減少、高齢化が進行、エネルギー政策の見直しが必要

## ！人口減少時代の到来

■札幌市の人口の将来見通し

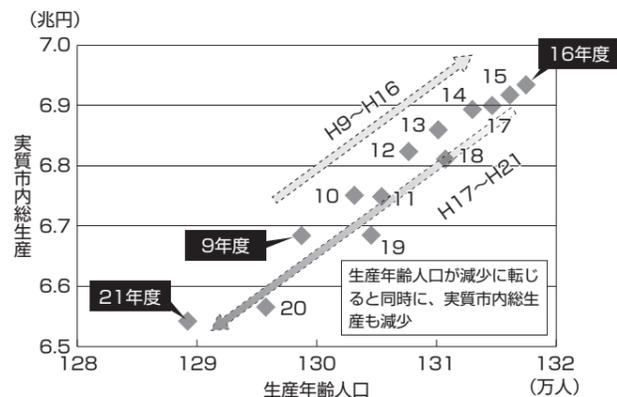


〈資料〉札幌市、総務省「国勢調査」

増加を続けてきた札幌市の人口は、平成27年(2015年)をピークに減少に転じる見込みで、特に札幌の経済を支える働き盛りの世代(15~64歳：生産年齢人口)が大きく減少する見通しです。

## ！経済規模の縮小

■生産年齢人口(15~64歳)と実質市内総生産(平成9年度~21年度)

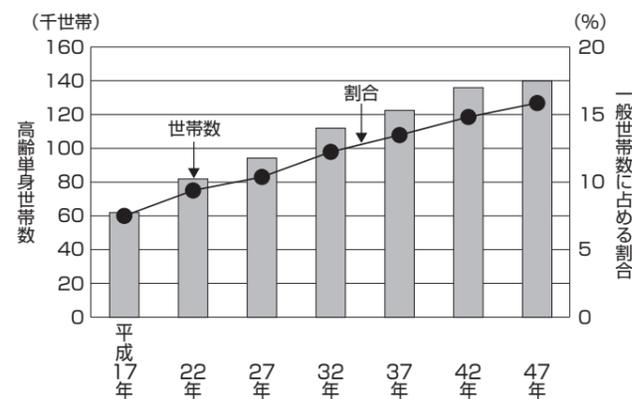


注：グラフ内の数字は、各年度を表す。生産年齢人口は、各年10月1日現在の住民基本台帳人口による。〈資料〉札幌市

働き盛りの世代(15~64歳：生産年齢人口)が減ると、それにあわせて実質市内総生産(札幌市全体の儲け)も減っています。

## ！高齢単身世帯の増加

■高齢単身世帯及び一般世帯数に占める割合の将来見通し



〈資料〉札幌市、総務省「国勢調査」

高齢者の割合は増加し、平成37年(2025年)には8世帯に1世帯が一人暮らしの高齢者となる見込みです。

変化に対応するために

これまでの価値観を大きく変えることが必要

今後、人口減少社会の到来や、働き盛りの世代(生産年齢人口)の減少に伴う経済規模の縮小が見込まれる中、私たちは、これまでの右肩上がりの時代から価値観を大きく転換していくことが求められています。

このような中、札幌の魅力的なまちを次世代に引き継いでいくために、私たちが目指す札幌の将来のまちの姿を、目指すべき都市像として以下に掲げます。

目指すべき都市像

### 北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

札幌・北海道の魅力資源をみんなで磨き上げて、それを発信することで、世界が憧れる、心ときめくまちを目指します。

### 互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、お互いにつながり、支え合うことで、心豊かで笑顔になれるまちを目指します。

都市像の実現に向けて

選択と集中が必要

高齢化の進行や公共施設、道路、上下水道などの維持・保全などにより、社会的な費用の増大が予測される中において、目指すべき都市像を実現していくためには、**大事なところへ集中的に投資**をしていくことで、効果的にまちづくりを進めていくことが必要です。そこで、このビジョンでは、**社会経済情勢の変化を踏まえて、以下の3つのテーマを重点的に進めること**にしています。

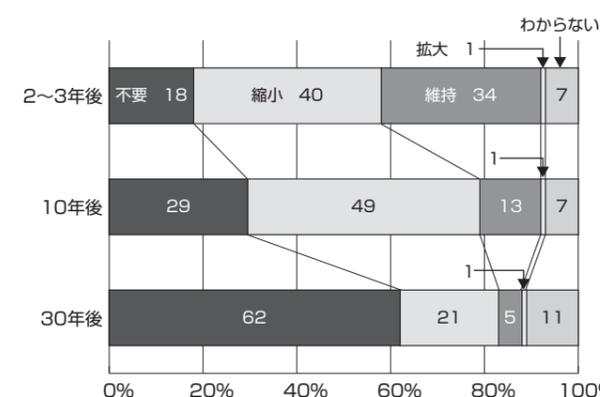
また、公共事業や再開発などの都市整備も、この3つのテーマを効果的に進めていくためのものに集中して取り組んでいきます。

### 3つのテーマとそれを支える都市空間



## ！エネルギー政策の転換

■原子力発電の今後のあり方



〈資料〉札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

平成23年度(2011年度)に行った市民へのアンケート結果では、脱原発依存を望んでいることがうかがわれます。